

科目名	日本語教授法Ⅱ	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	(1) 中級レベルの教材および内容 (2) 中級レベルの文型の意味と指導法 (3) 中級レベルの教案の作り方 (4) 中級レベルの模擬授業 (演習)
	到達目標	(1) 初級と中上級レベルの教材、指導法の違いを理解する。 (2) 中級文型の意味と作り方・指導法を理解する。 (3) 中級の教案を作ることができる。 (4) 中級文型を適切に教えることができる。
授業計画	(1) 中上級レベルの日本語教育 (講義) (2) // (3) // (4) 中級レベルの教案の作り方と指導法 (講義) (5) // (6) 中級文型の意味と作り方・指導法 (発表) (7) 教案作成と模擬授業 (演習) (8) 中級文型の意味と作り方・指導法 (発表) (9) 教案作成と模擬授業 (演習) (10) 中級文型の意味と作り方・指導法 (発表) (11) 教案作成と模擬授業 (演習) (12) 中級文型の意味と作り方・指導法 (発表) (13) 教案作成と模擬授業 (演習) (14) 中級文型の意味と作り方・指導法 (発表) (15) 教案作成と模擬授業 (演習) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・担当する文型について複数の文型辞典で調べること。 ・教案を作成し、模擬授業の前に事前指導を受けること。
	事後学習	・模擬授業の問題点を把握し、次回の授業で改善すること。
使用教材・参考文献	【教】土岐哲他『日本語中級J301 教師用マニュアル』スリーエーネットワーク 1995年 【参】庵功雄他『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク 2001年 【参】グループジャマシイ『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版 1998年	
成績評価方法と基準	授業での積極性(10点)、演習(50点)、期末試験(40点)で評価します。上記評価方法により、合計が60点以上に到達した者を合格とします。	
備考	・今年度「日本語教育実習」(後期科目)を受講する者は必ず受講すること。 ・4回以上欠席したものは不合格とする。(遅刻2回を欠席1回とする)	